

組織運営

- ④お子さん、保護者だけでなく、教員においても多様性を考慮する必要があるため、各教員の目標やその評価においても、成長段階や多様性を考慮した目標設定へのサポートや評価の考え方、それに伴う運営側の情報共有の必要性を感じました。
- ④自己目標の所で、目標をうまく設定できていない教員に対しての指導ですが、どのような指導方法を行いますか。
- ⑤保護者アンケートは、大半の意見は肯定が半分を上回っておりますが、全体を評価するとまだ改善が必要だと思われます。今回の結果が次回集計時に肯定の意見が増えることを期待します。
- ⑤保護者アンケートも中には手厳しい意見もあったかと思いますが、保護者の思いも取り入れつつ、今後も改善できる部分は取り組んでいきたいです。
- ⑤各項目において高評価を得ているのは、日ごろの皆さんの努力が報われているものとして嬉しい。ただ、園での様子や成長については、保護者が一番関心を持っていることなので、方策を講じていただきたい。
- ⑤否定的な意見もありますが、全体的に見てすばらしい幼稚園です。保護者が幼稚園のことをどのように思っているのかがわかるアンケートなので、良い取り組みだと思う。
- ⑤親であれば答えやすい具体的な設問が多くてよいと思う。ただ、設問がやや多すぎるので、同じような内容は精選したい。
- ⑤保護者アンケートを実施され、しっかりとまとめていただいています。その結果から表出した課題に対して、どのような対応計画、実行計画を検討されるかに期待いたします。
- ⑤保護者へのアンケートは非常によい取り組みだと思います。

<p>安全管理</p>	<p>①感染症対策として、手洗い、消毒の指導を重点的に行う。 ②各種の避難訓練を積極的に行う。 ③情報管理に関するマニュアルを策定する。</p>	<p>①手洗い、消毒の指導に関しては徹底できた。 ②地震と火災に関する避難訓練については、いろいろな条件設定をした上での訓練を行うことができた。 ③9月に情報管理に関するマニュアルを策定した。</p>	<p>①感染症対策としてはある程度一般化され、世間的にも落ち着いてきたかと思えます。一方で、今後はどの程度コロナ前の生活様式に戻していくのかは判断が難しい状況かと思えます。園のみで検討していくには難しいかと想像できますので、関係各所との連携を密にして対応をご検討いただければと思いました。 ①国の方針も変化してきている中、園での対策をしっかりとしてほしい。 ①コロナ禍も4年になりますが、園児を教育する環境の中で職員はしっかり対応できていると思えます。 ①保護者アンケートにもありましたが、保護者の方の多様性も広がる中で、感染症対策においても100%の要望をお聞きすることは困難になります。重要なのは、不信感を生み出さないようにするためのコミュニケーションが重要になると思えますので、その構築に期待いたします。 ①感染症対策は、来年度また大きく変化があると思えますが、変わらず今後も指導していただけるとよいと思えます。 ①まだコロナ対策は予断を許さないもので、手洗い、消毒の指導は継続してほしいと思えます。 ②防災においても感染症対策と同様に、保護者とのコミュニケーションが重要だと思いました。 ②地震、火災もですが、不審者に対する訓練(侵入だけでなく子どもが遭遇した際など)も行っていたらと思います。 ②避難訓練はどのような条件変更で試されたのか開示して頂きたい。 ②地球温暖化の中、世界中のあらゆるところで災害が起こっている。子どもたちの将来が心配されることです。訓練は言うまでもなく、年長さんあたりには現実に起こっている現象について考える時間を作って、話をする機会を作ってほしい。 ②今後も継続をお願いします。 ③情報管理マニュアルは前期から変化なしと理解しました。 ③十分検討されたマニュアルだと思う。 ③今後も継続をお願いします。 ④活動計画は十分に達成できている。今後も継続をお願いします。</p>	<p>①コロナウイルスに関する対策は、国が令和5年度に変更する予定であるが、コロナウイルスに限らず感染症を予防するための対策としては手洗いや消毒は欠かせないものとする。そのため、これまで通りの取り組みを続けていきたい。 ②火災および地震に対する避難訓練は、いろいろな環境を想定をしたうえで実施してきた。密になることを避けるために取り組みを中止していた「不審者の侵入に対する避難訓練」を計画していきたい。 ③近年、熱中症への対応が問題となってきているため、熱中症対応マニュアルを策定したい。</p>
-------------	--	--	---	--

<p>家庭、地域等との連携</p>	<p>①園行事等の運営に関し保護者のボランティアを要請し家庭との連携を図る。 ②地域にある高齢者施設との交流の在り方について模索する。 ③園から家庭への各種通信を充実させる。 ④園の行事に関して、報道機関への情報提供を推進する。 ⑤子育て支援倶楽部「ボーディ」や「ラッコルーム」「ひよこひろば」の充実を図る。</p>	<p>①学習発表会、卒園ピクニックに際して保護者からボランティアを募り、活動していただくことができた。 ②地域の高齢者施設への訪問は、コロナ禍により実施できなかったが、手紙を送ることができた。 ③園日より、べるきっずなどの通信を定期的に発行し、家庭への連絡とした。 ④報道機関への情報提供については、園行事の中から精選して情報を提供している。令和4年度は、6行事に9報道機関の取材を受け、新聞等に掲載された。 ⑤子育て支援倶楽部ボーディについては、ヨガ教室やさんすう教室、寄せ植え教室、絵カード教室などを開室し、好評を得た。ラッコルームやひよこひろばについても、各月で開催でき参加者からも好評を得ている。</p>	<p>①保護者ボランティアは良案だと思います。年々仕事を持つ保護者は増えているので、一定の方の負担を増やすのではなく、できる時にできることをする今後の取り組みを増やせればいいのではないかと思います。 ①園の行事に家庭からのボランティアを募集し活動いただけることは重要だと思っています。このようなご家庭や地域との協業を増やしていくことでコミュニケーションが増加し、幼稚園への理解も深まり、トラブルの減少、理解者の増加に繋がると思います。ご家庭の事情も様々なので、可能な範囲にはなりますが、取り組みを強化していただければと思います。 ①学習発表会時のボランティアは非常に役員としても助かるので、今後もお願いします。 ①運営に関しての保護者ボランティアは、父母の会の役員としてはとても助かりました。役員や職員への負担軽減、そしてボランティアを経験することにより、その方も役員をやってみたいという気持ちになる方もおられるかと思っています。今後も引き続き継続していただきたいと思っています。 ②高齢者の方は子どもとのふれあいをとても喜ばれるので、地域に根付いた園としてできる限り行ってほしい。テレビ電話を取り入れたり、行事等を録画して施設でDVDで見いただくなどしてもいいかと思います。 ②今後も継続をお願いします。 ③子どもを預かっているだけでも大変なのに、各種通信の充実は本当に手間のかかることと思ひ、感謝しかありません。わが子の時代には、それぞれお便り帳があり、先生だけでなく親も参加した情報の共有だった気がしております。親の積極的な参加がほしいところです。 ③べるきっずは、園の情報だけでなく子育てについての在り方や保護者にとってヒントになったり勉強になったりする情報が掲載されているので、とても良いと思う。 ③今後も継続をお願いします。 ④報道機関へも子どもが目にするたびに、これ楽しかったと懐かしむ気持ちも持てるので、今後も楽しみにしています。 ④今後も継続をお願いします。 ⑤ボーディも楽しく、保護者が交流できるのでよいと思います。 ⑤通常の業務で大変な中、ボーディでの活動も充実を図っていただき、参加者から好評も得られているようで素晴らしいと思います。そこで得られた内容を教職員で共有していただき、園の運営にも上手く生かしていただければと思います。 ⑤コロナ禍で人との繋がりが薄れていたため、保護者同士の交流の場にもなり、好評なら今後も続けてほしい。 ⑤ボーディは園の特徴的な活動で、差別化させるサービスとして有効的な手段だと思います。 ⑤今後も継続をお願いします。 ⑥送迎だけでなく様々な場面で園に足を運んで頂き、身近な存在であってほしい。</p>	<p>①園の応援団、理解者として位置付けられる、保護者によるボランティアの要請を今後も続けていきたい。 ②地域の高齢者施設との交流を進めるため、行事等の録画をDVDにして送る取り組みを進めていきたい。 ③「べるきっず」もかなり位置づいてきていると同時に、保護者からも内容について感想をいただく機会も出てきた。今後も「べるきっず」を園の情報発信、保護者への子育て情報発信のツールの一つとして推進していきたい。 ④新聞等の紙面メディアについては、新聞購読者の減少により情報発信力はやや低下してきているので、テレビ等の画像メディアの取材を得ることができるよう、今後も情報提供を進めていきたい。 ⑤「ボーディ」への参加者は、すずか幼稚園と第2すずかきしおか幼稚園でかなり差が生じている。そこで、令和5年度は、第2すずかきしおか幼稚園の保護者が参加しやすいように両幼稚園の園舎を使った講座を増やしたいと考える。 ⑤「ラッコルーム」や「ひよこひろば」は、本園への入園者増加を目的とするだけでなく、保護者にも人との出会いの場になっている。また、幼稚園で教師が園児とかかわる様子を見ていただく場ともなっている。今後も地域の子育てをサポートできる施設としても位置づくように計画していきたい。そのため、ホームページによる情報提供を推進していきたい。</p>
-------------------	--	--	--	--

<p>教育活動</p>	<p>教育課程と幼児理解・援助</p>	<p>①「人とのかかわり」を主軸に置いた公開保育および事後検討会を実施する。 ②主体的活動と学級活動との関連性を意識した環境・教材研究の実施。 ③鈴鹿市の進める集団適応診断を活用し、特別な支援を要する園児への適切な支援に取り組む。</p>	<p>①研究主題を「人間関係」とすることにより「人とのかかわり」をねらいに据えた研究保育を各担任が年間2回実施することができた。 ②教育活動に取り組む際、子どもたちが主体的に取り組むようにするためにはどうすべきかを各学年で話し合った。また、園務分掌の各係において、子どもたちが主体的に活動できる内容についての提案を行うことができた係もあった。 ③鈴鹿市子ども家庭支援課に気になる園児の日常の様子を観察に来てもらい、保護者対応も含めて園児の支援に関して連携している。</p>	<p>①研究に割く時間は大変かと思いますが、年度が進むにつれ教員の方々の意識向上が見られているように思います。 ①資料には記載がありませんでしたが、公開保育について、公開の対象など含めどのように行われたのか？その後の事後検討会での検討結果(フィードバック)と対応計画が重要だと思いました。 ①人間関係の向上が非常に難しいので、人とのかかわりの保育は続けてほしいです。 ②教育において「主体性」や「探求」などがキーワードに挙がって、学校での対応が求められていますが、現場では具体的にどのように対応してよいのか？わからない状況もあると聞いています。一方で上手く対応されている教育機関などもあると思いますので、可能な範囲でベンチマークなどできると良いと思いました。 ②子どもたちに主体性を持たせることはとてもよい取り組みなので、継続でお願いします。 ③園児の支援に関しても、市と連携して対応されているとのことで、今後も続けてほしいと思います。 ③集団適応診断や小学校との連携、申し送りは重要だと思っております。業務内容が増加して大変かと思いますが、自治体のサポートを上手く活用しながら、引き続き推進していただければと思います。 ③小学校に就学してから特別な支援が必要だった、ということがないように、早いうちに支援が必要な園児に気づき、保護者や専門機関に繋げ対応することは大切なので、引き続き支援に関して連携していただきたい。 ③最近、就学時健診で問題を抱えた子どもさんが増えています。保護者の不安も強く、対応に時間を要することでしょう。個々の発達に差が大きい年齢なので判断が難しいと思いますが、十分な知識を蓄えていただき支援していただきますようお願いいたします。 ③外部機関との連携は非常に有意義な取り組みだと思います。ぜひ運営側も主体的な活動を継続して下さい。 ③重要。積極的に専門機関と連携してください。 ③市の団体にも支援を求め、今後も継続でお願いします。 ④いろいろと難しい状況ではありますが、心を育む体験育成活動を取り入れていただきたいと思います。</p>	<p>①令和5年度も研究主題は「人間関係」として「人とのかかわり」をねらいに据えていきたい。 ②子どもたちの「主体的な活動」を進めるため、園内研修においてDVD教材を使い「子どもたちの主体的な活動を促す教員の動き」について研修を進めていきたい。 ③鈴鹿市の集団適応診断をきっかけに保護者、子ども家庭支援課、専門機関、幼稚園との連携を深めつつ、本人の困り感をどうすればよいのかを模索していきたい。また、就学に際しては就学先小学校との連絡を密にし、小学校からの園への訪問を積極的に推進し、連携を進めることにより円滑な接続を図りたい。</p>
-------------	---------------------	---	--	--	--

<p>研修</p>	<p>教員の資質向上</p>	<p>①研究保育の充実を図るため、指導案作成について研修を進める。 ②幼児理解に関する園内研修を積極的に行う。 ③一日の子どものエピソードを出し合い、それを基に互いが学び合う研修体制を確立する。 ④園外での研修の機会を積極的に活用していく。</p>	<p>①指導案作成に絞った研修は進めることができなかった。特に「ねらい」や「目標」に絞った研修を進めていきたい。 ②幼児理解に関する園内研修に関しては、毎月の職員会議後に研修の時間を取ることができた。夏季休業中の園内研修を計画していたが、コロナ感染拡大により実施できなかった。 ③毎日の打ち合わせにおいて子どものエピソードを出し合っていくことができた。 ④コロナ禍により、東海北陸地区の研修会には参加できなかった。(名古屋での開催のため、多数の教員派遣を考えていた)県内での園外研修にはできる限り参加する体制を取ることができた。</p>	<p>①ねらいや目標をはっきりさせて研修を進めてほしいです。 ②園内研修に関しては毎月できているとのこと、先生方の意識付けがきちんと行われていると思います。 ②組織運営の所でも記述しましたが、教員においても多様性が広がる中、可能な範囲でその点を考慮したサポート体制の検討、構築が必要になると思います。 ③の日々完結は非常に大切な活動だと思います。運営側の想いに加え、先生方がどのような情報を必要としているかなどの視点も重要だと思います。 ③子どものエピソードを出し合っていくことは、とてもよいと思いました。 ③毎日の打合せで子どものエピソードを出し合うということは、それだけ先生方が子どもたちのことをよく見ているということなので、素晴らしいと思います。 ④外部研修などは、興味関心、知的欲求を満たす面から、教員のモチベーションの向上にもつながると思います。来年度は機会を増やして頂ければと思います。 ④コロナ禍で園外に出るのは難しいこともあったと思いますが、徐々に緩和の傾向にあるので、先生方が行きたいと思ったものには積極的に参加できるようにしてほしいと思います。 ①成果と課題を拝見すると研修や指導にとっても積極的に取り組んでいらっしゃいます。まずは基本となる土台が大切だと思いますので、職員さんには積極的に参加していただき、自らのモチベーションアップを行っていただきたいです。 ④コロナ禍でなかなか実施できないと思いますが、PCでの遠隔研修も取り入れたらと思います。 ④まだまだコロナ禍ではありますが、名古屋等での研修機会を増やして、少しでも資質向上に繋げてください。 ④研修会への積極的な参加は、限られた時間の中で難しいことも多かろうと思います。また、研修会参加後、園の取り組みについて先生方で十分に話し合いをもっていただき、幼稚園としての特色を見出してほしい。 ⑤「心の基地はお母さん」という本があります。本来、家庭教育が基本と思っています。先生方の努力もさることながら、家での子どもの様子を把握することも園側のヒントになるかと思っています。 ⑤教師集団が多いのがさすが幼稚園の強みです。ぜひ子ども理解や指導の工夫、教育観など交流して資質向上に生かしてください。 ⑤教員の個人評価の内容から余裕のない状況が想像できました。一方で、保護者アンケートにもありましたが、お子さん、保護者との対話(コミュニケーション、情報発信、共有)が求められています。多忙な中、何とか時間(余裕)を生み出していくためにも、電子化やITシステムなどの積極的な導入を検討し、働き方の改善に繋げていただければと思います。 ⑤みなさん、業務で目いっぱいなので、無理のない範囲で行っていただきたい。</p>	<p>①年度当初に指導案作成に関する研修会を設定したい。 ②毎月の園内研修で、「子どもが主体的に活動する」ための教員の環境設定などについて、DVDを使った研修を引き続き進めていきたい。 ③子どものエピソードを保護者に伝えることにより保護者とのコミュニケーションを図れるようにしていきたい。 ④令和5年度の東海北陸地区研究大会には参加できるよう取り組んでいきたい。また、園外での研修会に関しては、積極的に参加できるよう教員に情報発信していきたい。</p>
-----------	----------------	--	--	---	--